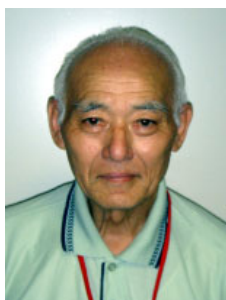


ら「ボランティア」というハイカラな言葉が流行っており、昔は「勤勞奉仕」(強制でしたが)と言うていました。「ボランティア」にケチをつけるつもりはさらさらありませんが、真宗者には「ご報謝」と

いう良い言葉がありません。念仏を心に入れて、本當の意味で他者が生かされてゆく、自律、自覚することの助けになるよう、ご報謝をさせていただくという思いを忘れてはならないと思うのです。



長年西教寺長ノ木本坊の帳場をつとめてくださった齋藤芳樹さんが退任され、代わりに同じ惣付から河野和俊さんが帳場になつてくださいます。書道に巧みです、これから施主読



河野和俊さん

みをするのが楽しみです。齋藤さん、長年ありがとうございました。河野さん、よろしくお願ひします。

また、下山田地区のお世話をしてくださった葛村照子さんが体調不良のため退任され、森政和江さんが就任され



森政和江さん

ました。よくお聴聞さされ熱心なお同行の一人です。葛村さん長年ありがとうございました。森政さんよろしくお願ひします。

敬悼録

七月	二日	内神町	沖本ヒサコ	八十七歳	廿一日	焼山泉ヶ丘二倉田	恒夫	七十三歳
八日	西愛宕町	金原 豆	九十七歳	三日	西三津田町	奥本 洋子	六十一歳	
十日	安芸郡能野町	沖下 寿美枝	八十一歳	三日	山口県岩国市	冨井 洋子	七十五歳	
十二日	東中央四	澤原 喜久	八十一歳	六日	東中央二	樽井 三子	九十四歳	
十三日	望地町	大野 武勇	九十七歳	十五日	上山田町	空井 常高	八十五歳	
十五日	東中央一	川崎 益美	七十九歳	十八日	瀬戸見町	中島 千晴	一〇歳	
廿日	海岸三	島本 陽士	七十三歳	十九日	西川原右町	沖本 勝巳	九十二歳	
廿日	神山三	宗政 喜巳	七十五歳	廿日	東辰川町	中本 定夫	八十八歳	
廿三日	郷町	岡本 昇	九十一歳	廿日	西辰川二	戸田 貞則	七十七歳	
廿四日	中央六	岩下 信雄	六十七歳	廿五日	中央五	大塚 實	八十四歳	
廿五日	平原町	遠藤 フサコ	一〇三歳	廿六日	長ノ木町	横田 サツミ	一〇一歳	
廿五日	焼山宮ヶ迫一	小島 一人	九十三歳					
廿八日	山手二	能勢 廣二	八十四歳					

(年齢は数え年・敬称略)

澤原喜久さん

長年西教寺総代の一人としてご報謝くださいました。みんな親しみを込めて「下沢さん」と呼んでおりました。旧家で戦災にも会わず、古い物をいろいろとお持ちでしたので、西教寺関係の古い写真などいろいろと見せて頂き、大変便宜を計ってくださいました。

沖本勝巳さん

九十歳をすぎるまで、実に四〇年の長きにわたり、西教寺三津田支坊の帳場をつとめられ、お聴聞にはげまれました。遠い川原石から朝昼晩一日三回ずつ通うて来てくださいました。またご近所の明光寺の帳場をお手伝いされ、尊いご報謝の一生でありました。